

Two of Us

ふたりの出会い



金子 幸生 日建建設 社長

かねこ・ゆきお／1968年4月16日生まれ。西南学院大学法学部卒業後、福岡地所に入社。住宅事業本部で主として住宅展示場の運営に携わっていたが、家業の日建建設の営業強化のため転進。社長室長、副社長などを経て、2003年に社長に就任した。九州住宅産業協会副理事長、福岡市建設業協会会長などを兼務。福岡市出身。

二人の出会いには、地場のデベロッパーや建設会社で事業承継した（もしくはする予定の）若手経営者らで作る九州翔経塾の設立準備に入った2006年ごろ。九州住宅産業協会（九住協）の理事になったばかりの金子社長が、当時の理事長から事業承継についての相談を受け、東京の承継者の会「翔経塾」を参考に、九州翔経塾の旗揚げに動き出すことになった。その時に、声をかけた若手経営者の一人が百田社長。金子社長が同塾の代表世話人になってから16年が経過、このほど次の代表世話人に百田社長を指名、バトンを託した。

百田 善太郎 百田工務店 社長

ももた・ぜんたろう／1975年12月15日生まれ。福岡大学商学部第二部卒業。父の勧めで、群馬県桐生市の中古住宅再生販売会社やすらぎ（現カチタス）に入社。首都圏を中心に5年勤めた後、2004年に家業を継ぐため帰郷。15年に百田工務店の4代目社長に就任した。福岡市出身。

NISHINOHOSHI

西の星

NISHINOHOSHI
is a genuine distilled spirit
produced from carefully selected barley
of which name "Nishinohoshi".



大分県産大麦『ニシノホシ』使用

飲酒は20歳を過ぎてから。お酒はおいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒には、気をつけましょう。飲酒運転は、絶対にやめましょう。

三和酒類株式会社

大分県宇佐市山本・虚空蔵寺丁
TEL.0978(32)1431(代) FAX.0978(33)3030
<https://www.sanwa-shurui.co.jp>

「若手の会『九州翔経塾』を大いに盛り上げて」——〈金子〉

私が旗揚げから関わり、この16年間務めてきた九州翔経塾の代表世話人を、百田君に引き受けてもらった。百田君のことは、私が百田君のお父様と同じ業界で面識があったこともあって、以前から知っていました。地場のデベロッパーや建設会社で作る九州住宅産業協会の会合などではよく顔を合わせており、30～40歳代の若手経営者で作る九州翔経塾の発足に当たってもいろいろと手伝ってもらい、その関係で幹事にもなってもらいました。

業界団体などの役職が増えてきたこともあって、私は2年ほど前から代表世話人の交代を考えるようになり、5人の若手幹事の中から百田君を選んで私の後を引き継いでくれるようお願いしました。

百田君とは、社業以外のことも気さく話せる間柄。非常に勉強熱心であることは、九住協や翔経塾などでの活動を見て分かっていました。細かなことでも自分が納得するまで熱心に聞いてくるバイタリティがある。同世代の若手経営者から一目置かれており、下の世代からも慕われています。

九州翔経塾は、2026年に20周年を迎えます。百田君には、若手経営者同士のホットラインとして盛り上げていってほしいと思います。

「重責ですが、しっかり務めていきます」——〈百田〉

金子さんから、代表世話人の話をいただいたとき「これはちょっと大変だな」と率直に思いました。塾の主な活動は、総会、幹事会のほかに年2回例会を行っていて、その時に私たちの父親世代の経営者を招いて体験談などを話してもらう「おやじ大いに語る」や、会員メンバーの「本人大いに語る」の開催です。正直、これだけならそれほど難しい活動ではないのですが、金子さんの活動ぶりを傍で見ていて大変そうだったのは、東京や関西の翔経塾との交流会。メンバーは、上場企業を含む大会社の経営者ばかりですが、金子さんはそうした人たちにも気後れすることなく、普段どおり接していらっしやう。同じように私に出来るかどうか自信はありませんでした。先日、箱根で開催された研修会に参加したときも、お酒を飲みながら気さくに話していた相手が、実は大会社の経営者だったことが後で分かって冷や汗ものでした。大変な役割だと改めて感じました。

けれども、以前から尊敬する金子さんからの話であり、ご自身も全く卒業ということではなく、幹事として残っていただけるということだったので、お引き受けしました。同世代の仲間が「お前がやるなら」と背中を押してくれたこともありがたかったです。しっかり務めていきたいと思っています。